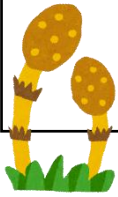


高野校だより

舞鶴市立高野小学校
令和6年度 学校だより
第14号
令和7年3月21日発行



校訓

至誠

進取

自治

協同

〒624-0832 舞鶴市高野台1-1
Tel 0773-75-0768 Fax 78-3050
HP [http:// takano-maizuru.edumap.jp/](http://takano-maizuru.edumap.jp/)

ご卒業 ご進級 おめでとうございます

高野川の水面には明るい陽ざしがキラキラと輝き、長く厳しい冬を耐えてきた木々のつぼみも今、まさに開花の時を待ちわびています。心と体を和ませる風とともに、ようやくここ高野の地にも春が巡ってきました。

一昨日19日は、令和6年度卒業証書授与式を挙行し、22名の卒業生が高野小学校の学び舎を力強く巣立っていきました。厳粛な中においても温かさがにじみ出る式になり、ご来賓の皆様をはじめ、保護者の皆様、在校生（4、5年）、教職員で、卒業生の前途を祝福しました。

卒業生が6年間の頑張りやその重み、また感謝の気持ちをしっかりとかみしめ、新たな門出の力強い一歩につながる日となりました。そして本日21日には、90名の在校生が修了認定を受け、1つ上の学年に進級しました。1年間の頑張りを振り返り、成長の節目としての自覚を持つことで次の学年への意欲につなげてほしいと願っております。

授業や様々な活動において、子どもたちの意欲を高め、主体的な学び手の育成を目指して、日々取り組んでまいりました。学習における文房具としてのICT活用は一定成果が見られ、考えたことや調べたことを入力したり、情報収集をしたりなど、上手に使いこなす姿がどの学年でも見られるようになってきました。今後は、発信（アウトプット）のツールとして、授業でまた外部とのつながりの中で、さらに質の高い活用をしていきたいと考えております。

また今年度は『インクルーシブな学校運営モデル事業』の一環として、支援学校、聾学校舞鶴分校との交流及び共同学習に取り組んでまいりました。自分と異なる立場の人とかかわることや違いを認め合う環境で過ごすことにより、お互いを尊重したり、思いやりの心や共生社会の担い手としての気持ちをはぐくんだりできるよう、今後も取組を推進していきます。

さらに様々な行事等を通じて、つながりや感動を味わうことができました。相互の交流やかかわり、校外で学ぶ機会を得ることで、実際に見たり、体験をしたり、地域の方々とはふれ合ったり、ゲストティーチャーから学んだり、本物の芸術や音楽等にふれることができたりと、子どもたちのいきいきと学ぶ表情が見られ、心も体も大きく成長を遂げた1年となりました。

先日は「感謝の会」を実施しました。子育て支援や登下校の見守り、草刈りや除雪などの安心・安全に向けた取組、地域の先生やクラブ活動の指導など、様々なところでお世話になった方々をお招きし、児童から感謝の気持ちを伝える時間を持つことができました。雨の日も雪の日も寒い日も暑い日も風の強い日も、子どもたちの安全のためにご尽力いただいたり、行事の支援や学習、読み聞かせやクラブ活動などで豊かな心をはぐくんでいただいたりと、健全育成に努めていただくことで、子どもたちの頑張りを支えていただきました。また、ご都合でご来校いただけなかった方、見えないところで汗を流してくださった方など、多くの皆様のご支援があってこそその学校教育であると改めて痛感しております。

こうして元気に卒業・進級の日を迎えることができましたのも、子どもたちに寄り添い温かく見守っていただくとともに、学校教育の推進に対しまして深いご理解とご支援をいただいた保護者の皆様、地域の皆様のおかげと心より感謝いたしております。

私たち教職員一同、この1年間、子どもたちの健やかな成長を目指して努力して参りましたが、行き届かぬ点、力及ばずご期待に十分添えなかったことも多々あったことと思っておりますが、それにもかかわりませず、ご理解・ご協力を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。子どもたちや皆様との出会いに感謝し、今後もより一層、安心・安全で楽しい学校づくりに努めてまいります。どうか今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

校長 材木 敏志 教職員一同



花いっぱい運動の様子



感謝の会の様子